

まず行動を起こす



共に考え行動する



力をまとめる



確かめ合う

1 【 担任が指導に専念しやすいような効率的な段取り設定 】

担任に少しでも余裕をもたせ、子どもに充実した指導してほしい。

運営委員会などでの提案で重複した内容や時期的に無理なことについて整理している。



全体を見通して今やるべきことを焦点化し、もれなく無理なく指導してほしい。

予定ややるべきことを時系列で見やすいように提示し、情報の集約をしている。



学年職員の仕事の負担が偏らないようにしたい。

職員の経験を生かして、学年内の担当を決めて仕事の割り振りをしている。



担任が指導に専念しやすいように、効率的な段取りを設定している。

2 【 指導方法に対する率先垂範 】

ケースバイケースの指導をしてほしい。

場面によって柔軟な指導ができるように、自分の指導方法を提供している。



学年主任が率先することで、指導方法の目安や見通しをもってもらいたい。

指導計画や指導過程の参考になるように、具体的にどのような指導をしているのかが分かる資料を提供している。



具体的な指導方法を身に付けてほしい。

指導や仕事を共にしながら、自分のやり方を見てもらっている。



自分のやり方を見てもらうようにしている。

教頭

教務主任

学年主任

研修主任

まず行動を起こす

→ 共に考え行動する

→ 力をまとめる

→ 確かめ合う

3 [学校の指導方針につながる具体的な段取りの提案]

目指す生徒像に近づかせたい。

職員の効果のある取組をまとめたり、応用したりしている。

より効果的な学習過程にしたい。

共通理解、共通認識を深めるために職員の共通の問題(児童生徒の課題)を、児童生徒の様子や日常の会話を通して探している。

児童生徒の課題を改善させたい。

具体的な場面の指導方針・指導方法を日頃から周知するようにしている。

学校の指導方針に沿うように具体的な取組を提供している。

4 [短・長期的な内容に合った指導体制の判断と実践]

生徒指導関係では、即時対応をしたい。

できるかぎりの情報を素早く集め整理し、指導や対応の指示を出している。

学年として長期的な指導方針・指導方法を立案したい。

共通理解を心掛け、状況を見ながら、足りない内容を補充していくようにしている。

効果的な指導形態をとりたい。

規範意識に関することは学年集会等で集団指導をしている。個人的な問題でサポートが必要な場合は個別指導をしている。

短・長期的な内容に合った指導方針や効果的な指導形態を判断して対応している。

まず行動を起こす

→ 共に考え行動する

→ 力をまとめる

→ 確かめ合う

5 【 日常的なコミュニケーション 】

職員の方考え方やどう
していきたいのかを
理解したい。

児童生徒に関わる
話題をよく採り上げ
ている。

周りの職員の動きを察
知していざという時に
連携・協力したい。

職員がいろいろな仕事
を抱えているのを意識し、
経過報告を交えた話をし
ている。

何かあった時にも自
然に声が掛けられる
ようにしたい。

「ご苦労様でした」「あり
がとうございます」「助かり
ました」等、感謝の気持ちを
伝えている。

普段からよく話をしている。

6 【 管理職の方針と学年職員の意見や考えの伝達 】

学校の方針や管理職
の考えを分かりやすく
職員に伝えたい。

管理職の思いや立場を踏まえ
て、大事なことや必要なこと、新
しく取り組む内容などについて、
ねらいや取組の理由をあらかじめ
職員に説明している。

管理職に、学年とし
ての取組を理解して
ほしい。

管理職に学年としての
指導方針・指導内容を提示
し、児童生徒や職員の姿を
交えて説明している。

管理職に子どもの実態
や指導経過を知って
もらい、必要に応じて助言
や指導をしてほしい。

管理職に子どもの実態
や指導経過等をまめに伝
えている。

管理職の方針や考えと職員の意見や考えが双方向になるようにパイプ役をしている。

教
頭

教
務
主
任

学
年
主
任

研
修
主
任